

和泉市ものづくりサポートセンター支援事例集（第2弾）

公的制度（小規模企業設備貸与制度）の紹介、斡旋に係わる支援事例

事例1 企業名 **㈱ナカムラロール** 代表取締役 中村 次郎 様
住所 和泉市太町265番地
創業 昭和40年 現在の社長は2代目
業種 長尺ロール軸加工、製缶、機械加工
年商 約170百万円

要望事項

- ・今年、自動長尺旋盤の更新時期が来ており、設備資金に約2000万円必要である。
- ・国民生活金融公庫、大阪府信用保証協会等の金融機関の借り入れ枠は運転資金として保留しておきたい。支援センターとしての対処
- ・上記の要望により、財団法人 大阪産業振興機構の「小規模企業設備貸与制度」(割賦・リース)を推奨し、平成16年7月に申請書が承認され大阪府より自動長尺旋盤の貸与をうけた。

事例2 企業名 **アントライオン** 代表者 吉川 博 様
住所 和泉市浦田町399番地
創業 昭和54年6月
業種 2輪車部品（アフターパーツ）の製造・販売
年商 約70百万円

要望事項

- ・アフターパーツの形状設計に三次元自動計測装置を使い、正確かつ効率よく設計していきたい。

支援センターとしての対処

- ・このような設備資金の調達には、最近では金融機関等よりの借入金以外にも色々な手段があり、今回、上記と同様の「小規模企業設備貸与制度」を紹介し、平成16年8月に承認、9月に割賦を利用し同装置を設置した。

- ・この制度はリース・割賦制度を利用し、金融機関の借り入れ枠や保証協会の保証枠とは無関係で、小規模企業者等の創業および経営基盤の強化を図るため設備投資を支援しています。従来大阪府の近代化資金貸付制度(無利子)の廃止に伴い今年度更に利用しやすい制度として生まれ変わりました。
- ・このためリース料や割賦損料は安く、利用者として金利面、会計上ならびに税務上共にメリットの多い制度と思われる。
- ・制度の概要は <http://www.mydome.jp/enterprise/epquipment/setsubitaiyo.html> を参照してください。



㈱ナカムラロールの長尺ロール軸加工機



アントライオンの三次元自動計測装置

上記のような計画をお持ちの方は当センターへご相談ください。